



# データでみる福島再生

## 最近の動き

### ○除染等工事の進捗状況

- ・特定帰還居住区域では、大熊町、双葉町、浪江町、富岡町、南相馬市において除染・解体を実施しています。2026年8月末時点で、約823haの除染を完了しました。

### ○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,372箇所のうち、11箇所で除去土壌等を保管中、1,361箇所で搬出が完了し、1,316箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

### ○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、9月末時点で、約1,201万 $\text{m}^3$ （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、9月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器38,765個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

### ○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2026年9月末時点で、約1,449万 $\text{m}^3$ の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

### ○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、9月末時点で契約者数1,990人、面積約1,321haについて契約しております。

### ○国直轄による特定廃棄物の処理進捗状況

- ・特定帰還居住区域の解体申請を受付中（4町）です。
- ・被災家屋等について、8月末時点で、約19,700件の解体申請を受付済であり、約18,900件を解体済です。
- ・対策地域内廃棄物等の処理について、8月末時点で約34万トンが埋立処分済、約62万トンが焼却処理済です。
- ・福島県内の指定廃棄物については、6月末時点で約50万トン进行特定廃棄物埋立処分施設等で処分、中間貯蔵施設で保管または仮設減容化施設で処理等しています。

### ○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の焼却処理状況

- ・8月末時点で、約163万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました

### ○クリーンセンターふたばの埋立状況

- ・8月末時点で、41,005袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

### ○特定廃棄物埋立処分施設への埋立状況

- ・9月末時点で、297,014袋を特定廃棄物埋立処分施設へ埋め立てしました。
- ・特定廃棄物埋立処分施設への特定廃棄物の埋立ては、2023年10月31日が最終埋立日となり、無事終了しました。

### ○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（9月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を2回、専門家派遣を2回、車座意見交換会を1回、放射線教育の支援を24回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を9回、移動展示を3回（3日）実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を7回（7日）実施しました。

### ○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・2026年度の捕獲数は、9月末現在でイノシシ207頭、アライグマ200頭、ハクビシン31頭となっています。